

政治学科

2012

整理番号 No	科目名 Course Name	学期 Term	配当年次・単位 Student Year(s)・Credit(s)	担当教員 Professor
121	政治学演習 (谷澤正嗣)	通年	3年以上：4単位	谷澤 正嗣 政政・経演・国演

副題
Subtitle 現代リベラリズムとその批判

授業概要
Course Description 政治を語る際に用いられる重要な概念について分析しつつ、「権力とはどんな力か」「自由と平等を両立させる政治体制は可能か」「正義と不正義を判断する原理は何か」といった問題を扱うのが政治理論である。政治理論の研究は古典古代にさかのぼる歴史的次元と、きわめて抽象的な哲学的次元を有するが、現代の研究の多くは「リベラル・デモクラシー」と呼ばれる特定の具体的な体制をなかば自明の前提としている。リベラル・デモクラシーに含まれる価値や規範を肯定し正当化する志向を強くもつ政治理論を「現代リベラリズム」と呼ぼう。他方、それらの価値や規範に対する批判に重きをおく政治理論を「現代リベラリズム批判」と呼ぼう。本演習では、現代リベラリズムとそれを批判するさまざまな潮流のあいだの対話を追いながら、現代リベラリズムがどのように洗練されてきたかを明らかにする。

授業の到達目標
Objectives (1) 現代政治理論の主要な論点、とくに現代リベラリズムとその批判について理解する。
(2) 哲学的な読解、思考、表現、討論の技法を学ぶ。
(3) 次年度に政治学演習を受講し、演習論文を執筆するための能力を涵養する。

授業計画
Course Schedule 第1回：イントロダクション 現代政治理論とは何か
第2回：リベラリズムとは何か(1)
第3回：20世紀のリベラリズム(2)
第4回 - 第15回：『正義論』講読
第16回：考察と討議(2) 夏季レポート報告
第17回 - 第29回：文献講読(使用する文献は授業開始後に決定する)
第30回：考察と討議(3) ゼミ論文執筆に向けて

教科書
Textbook(s) 春学期は川本隆史ほか訳『正義論』(紀伊国屋書店、2010年)を使用する。秋学期の教科書は授業開始後に受講生と相談の上で決定する。

参考文献
Reference Book(s) 川崎 修、杉田 敦編『現代政治理論』(有斐閣、2006年)
太田義器、谷澤正嗣編『悪と正義の政治理論』(ナカニシヤ出版、2007年)
戸田山和久『論文の教室』(日本放送出版協会、2002年)
ウィル・キムリッカ(千葉、岡崎訳者代表)『新版 現代政治理論』(日本経済評論社、2005年)

評価方法 Evaluation	割合(%) Percent(%)	評価基準 Description
試験 Examination(s)	%	
レポート Report(s)	50 %	少なくとも2度のレポート提出を必須課題とする。問題設定の適切さと、レポート全体を構成する能力を重視する。
平常点評価 Class Participation	50 %	レジュメによる報告、討論への積極的で協力的な参加、討論から明らかになる文献の理解度などを総合的に評価する。
その他 Other	%	

備考
Note 選考課題(レポート)を課す。課題の詳細は掲示を参照のこと。教員オリエンテーションで参考資料を配布するので必ず入手して熟読すべし。ゼミの見学は随時歓迎する。質問や相談は電子メールでどうぞ。

關連URL
URLs for References